
初級から上級までの一貫シリーズ Vol. 5

まな
学ぼう！にほんご
れんしゅう もん だい しゅう
練習問題集

中上級

日本語教育の参照枠 B2 / JLPT N1 / 日本語NAT-TEST 1Q 対応

日本語教育教材開発委員会 編著

専門教育出版

前書き

本書は『学ぼう！にほんご 中上級』に準拠した練習問題集です。中上級教科書は、全15課構成になっており、それぞれの課の大テーマに基づき、長文読解練習や文型練習のほかに、話す練習やグラフを読む練習、関連語彙の学習、聞く練習、「書く」「話す」を交えた発展練習といった実践的な練習ができる内容になっております。

本書は、この教科書で学んだ語彙や、「重要な文型と表現の学習」で扱った文型を定着させる基本的練習と、既習文型との使い分けもできるようになるための練習で構成されておりますので、教科書の補完としての役割を十分に果たすものとなります。

さらに、本書は、教科書の補完としてのみではなく、シリーズを通しての教科書学習の目標となっている日本語能力試験にも照準を合わせて構成されております。問題を解く力をさらにつけるため、5課ごとに復習する部分をテスト形式で設けました。また、各課の最後のページには、日本留学試験にも対応した読解トレーニングの部分も設けました。巻末には、中上級全課を通した確認となる総合テストも日本語能力試験に対応した選択問題形式で設けてあります。

こうして、テキスト学習と公的な試験に対する学習とを一つにすることで、学習者は教室活動と試験勉強とをより親密に感じることができ、一層の充実感を持って日本語学習に打ち込めるであろうと期待しております。

本書を、『学ぼう！にほんご 中上級』の学習内容の完全定着のために、また試験対策の一環として、十分にご活用いただければ編著者としてこれ以上の喜びはありません。

2010年4月

編著者代表記す

本書の使い方

「練習」「似ている表現を使い分けましょう」

- ・各課の問題ⅠとⅡは教科書で学んだ語彙の確認、問題Ⅲから問題Ⅵ（課により問題Ⅶ）までは教科書で学んだ文型の基本的な練習によって成り立っています。
- ・「似ている表現を使い分けましょう」の部分は、その課で学んだ文型を、シリーズを通してそれまでに学んだことのある、意味や形の似ている文型と使い分けられるようになることを目的にしています。教科書本冊の練習から一歩進んで、正確さや適切な使用に必要な力を養っていただけます。◀◀マークの後には、既習文型がシリーズのどのレベルのどの課で扱われていたか一目で分かるように掲載しましたので、そこに戻って確認する時にお役立てください。

「プラス1」「読解トレーニング」

- ・各課の6ページ目にある「プラス1」の部分では、中上級までの教科書本冊で扱われなかった、あるいは出ていても十分に練習できなかったと思われる日本語能力試験N1、N2の出題範囲に該当する文型について、紹介しております。上級練習問題集と合わせて、N1レベルまでの文型の習得を目標とします。
- ・「読解トレーニング」は、日本留学試験でも頻繁に出題されるようなパターンの読解問題を選定し掲載してあります。教科書の長文を読み解く練習とは別に、短い時間を使って要点を捉える練習や、ポイントを絞って読む練習など、試験に必要な力を培うものとしてお使いいただけます。

5課ごとの復習テスト

- ・学習事項が多くなってくるこのレベルに合わせて、何度も思い出す機会を作るため、5課ごとに、それまで学習した部分を範囲とする復習テストをつけました。

総合テスト

- ・巻末に総合テストを2部つけました。実施は15課終了時点を想定し、内容は語彙、文法、読解を含んだものとなっております。すべて教科書本冊と本練習問題集で学んだことになっておりますので、学習達成度を測るものとしてお役立てください。また、日本語能力試験の新形式に対応した問題形式も出題しておりますので、試験対策にもお使いいただけます。

目次

前書き.....	3
本書の使い方.....	4
第1課（健康）.....	6
第2課（少子高齢化）.....	12
第3課（コミュニケーション）.....	18
第4課（慣習／風習）.....	24
第5課（大学生活）.....	30
第1課～第5課 復習テスト.....	36
第6課（社会保障）.....	40
第7課（少年／若者）.....	46
第8課（雇用／労働）.....	52
第9課（ボランティア）.....	58
第10課（都市と地方）.....	64
第6課～第10課 復習テスト.....	70
第11課（食料問題）.....	74
第12課（日本の社会生活）.....	80
第13課（環境問題）.....	86
第14課（教育／学問）.....	92
第15課（国際協力）.....	98
第11課～第15課 復習テスト.....	104
総合テスト①.....	108
総合テスト②.....	116

第1課 (健康)

問題 I □の中から言葉を選んで、書きましょう。

(例) 鼻水 が止まらなくて、ティッシュペーパーがすぐになくなってしまった。

- (1) この店では、_____面に注意し、毎回食器を_____している。
- (2) たばこを吸う人は健康を害しやすい_____がある。
- (3) _____をする時は口に手をあてるのがマナーだ。
- (4) あの人は_____3か月と聞いても表情ひとつ変えなかった。
- (5) 病気に負けない_____力をつけるためにバランスのよい食事をしましょう。
- (6) あの虫に刺されると、3日間は_____と闘う必要がある。
- (7) その書類はもう処理_____なので、こちらの机に置いておいてください。
- (8) 全国で患者が_____した_____には、いろいろな_____がある。
- (9) 少しでも体にいいものを食べようという健康_____が強まってきている。
- (10) 家族の好きな料理を_____苦勞して作ったのに、誰も帰ってこなかった。

免疫 殺菌 皮膚 衛生 体質 余命 くしゃみ 鼻水
かゆみ 急増 背景 要因 志向 傾向 済み さんざん

問題 II □の中から言葉を選び、必要ならば形を変えて書きましょう。

(例) その機能が、体内に入ろうとする花粉を 排除し ようとする。

- (1) 祖母は目の病気を_____ていて、すぐ横にいる人の顔も見えない。
- (2) 何もしないで家族が_____のを待つだけよりも、できることをすべてして無駄になったとしてもそのほうが_____と思う。
- (3) 胃が_____のなら、早く医者に症状を話して治療してもらったほうがいい。
- (4) _____な_____さは、もともと体に_____ている細菌と闘う力を奪ってしまうという説を_____学者もいる。
- (5) 健康な体を_____ために、無理なダイエットを_____たりするのはよくない。

痛む しみる 患う 清潔な 過剰な ましな 排除する
侵入する 死に至る 唱える 保つ 備わる 重ねる

問題 III

□の中から一つ形を変えて使い「～(よ)うにも(…ない)」の文を作りましょう。

(例)私もお金がないので、あなたに貸そうにも貸せない。

- (1) みんながわからないままでは、授業を早く_____。
- (2) 渋滞しているので、早く_____。
- (3) 歯が痛いので、_____。
- (4) 暖かい上着を_____お金がなかった。
- (5) 足の骨が折れて入院していたので、_____。

貸す 動く 買う 行く 食べる 終わる

問題 IV

より適切なほうを選んで○をつけましょう。

- (例)その店に入るかどうかさんざん悩んだあげく、(a. ずっと悩み続けた (b. 結局入らずに帰った))。
- (1) (a. 1年間真剣に勉強した b. あまり勉強しなかった) あげく、どの大学にも入れなかった。
 - (2) 何日間も会議を行ったあげく、(a. みんなが納得する結論を出すことができた b. はっきりとした結論は出なかった)。
 - (3) 彼女は3日間もかけて同僚にパソコンの使い方を説明してもらったあげく、(a. 結局わからないといってあきらめてしまった b. 結局すぐに自分で全部できるようになった)。
 - (4) (a. 昨日会社で同僚とけんかになった b. 数か月いろいろ考えた) あげく、とうとう会社を辞めることにした。

問題 V

□の中から適切なものを選んで()に入れましょう。

- (例)僕が健康に暮らせるのががんばって働けるのも(妻)あってのことだ。
- (1) () あってのこの会社だから、息子の代に変わってしまったら、ちゃんとやっていけるか心配だ。
 - (2) () あっての仕事ですので、この話は誰にも言わないでください。

- (3) () あつての授業なんですから、休みにしたり自習にしたりすることのないように、健康には気をつけてください。
- (4) () あつてのビジネスだと言われるが、借りて返せばいいだけだ。

社長 社員 妻 先生 学生 お客様 信用 お金

問題 VI 文を並べ替えて、正しい文を作りましょう。

(例) 全身／パーティー会場に／ずくめで／アクセサリー／登場した／彼女は
→ 彼女は全身アクセサリーずくめでパーティー会場に登場した。

- (1) 晩ごはんだった／誕生日だった／ごちそう／ので、／昨夜は／父の／ずくめの
→ _____。
- (2) 送っている／母は／私の／過ぎてから／60歳を／健康食／食生活を／ずくめの
→ _____。
- (3) 夜遅くに／彼は／服で／黒／出かけていった／ずくめの
→ _____。

問題 VII □の中から適切な表現を選んで () に入れましょう。 _____ がある場合、必要ならばその動詞を変化させて入れましょう。

(例) 準備ができる→ でき (次第)、連絡します。

- (1) どの服にしようかいろいろ迷う→ _____ ()、結局最初に見たものを買うことにした。
- (2) 結婚は相手 () のものだから、自分の都合だけで時期を決められるものではない。
- (3) 今年は、娘の出産、息子の就職と、いいこと () の年だった。
- (4) 午後に、大切なお客様がいらっしゃるので、出かける→ _____
() 出かける→ _____。

次第 にも あげく あつて ずくめ

似ている表現を使い分けましょう

I. { } の中から最も適切なものを選んで○で囲みましょう。

- (1) 普通に考えて、起こり { 得ない・かねる・ようにもできない } ことが起こったので、みんなびっくりしている。
- (2) 図やグラフなどが何も準備できなかったので、わかりやすく説明し { 得なかった・ようにもできなかった・かねた }。
- (3) 申しわけありませんが、そういったプライベートに関わるご質問には、 { お答えしかねます・お答えしようにもお答えできません・お答えしようがありません }。
- (4) うちの子はまだ1歳なのでひらがなを { 書こうにも書けません・書きようがありません・書くことができません・書きかねます }。
- (5) 子どもも連れて行ってあげたいが、少し風邪気味なので連れて { いこうにも連れていけない・いき得ない・いきかねる }。

II. () に入る最も適切なものを下の a～d から選びましょう。

- (1) 彼は3年間一生懸命勉強を続けた ()、ついにA大学に合格した。
- (2) 彼は何年前かに私に電話をかけてきた ()、一度も連絡をしてきていない。
- (3) 彼は3年も留年して両親に心配をかけ続けた ()、退学してしまった。
- (4) どの大学がいいか迷って先生に相談した ()、この大学を紹介された。
- (5) 出かけようとした () に電話がかかってきた。
- (6) 弟は何社も会社の面接を受けた () にやっと理想としていた会社に入ることができた。
- (7) 何日間にも及ぶ会議をして、() の果てに出た結論がこれだとは、がっかりだ。

a. あげく b. 末 c. ところ d. きり

Ⅲ. { } の中から最も適切なものを選んで○で囲みましょう。

- (1) おばあちゃんのしわ { ずくめ・だらけ・ばかり } の顔を見ていると、穏やかな気持ちになる。
- (2) 家に帰ると、部屋中ごみ { ずくめ・だらけ・ばかり } で、足の踏み場もなかった。
- (3) 人生悪いこと { ずくめ・だらけ・ばかり } あるわけじゃない。
- (4) 楽しいこと { ずくめ・だらけ・のみ } のイベントです。ぜひいらっしゃってください。
- (5) 最近、悪いこと { ずくめ・だらけ・ばかり } 起こる。
- (6) 息子はいつも全身泥 { ずくめ・だらけ・ばかり・のみ } で帰ってくる。
- (7) 昨日の夜、上から下まで黒 { ずくめ・だらけ・ばかり・のみ } の男がああ建物から出て来るのを見た。

Ⅳ. () に入る最も適切なものを下の a～d から選びましょう。

- (1) いつも助けてくれる君 () 僕なんだから、君の体のことのほうが心配だ。
- (2) 君がいつも助けてくれる ()、僕はがんばれる。
- (3) 彼女は小さいころからお母さんの手伝いをしていた ()、料理が上手だ。
- (4) 君の努力 ()、未来はどのようにでも変わるものだ。
- (5) 君の努力 () プロジェクト成功だよ。ありがとう。
- (6) 君が努力した ()、このプロジェクトが成功したんだよ。ありがとう。

a. からこそ	b. 次第で	c. あつての	d. だけあつて
---------	--------	---------	----------

◀ 初中級 6・11 課 / 中級 17・21・25・27・29・35 課

★プラス1 ①

Nの / Naな (N・Na [である]) / N_ナ / Na_ナ / A / V + くせに

(～のに…<非難や不満・意外な気持ちを表す>)

例) あいつは新入社員のくせに、何でもわかっているような言い方をする。
彼は歌が下手なくせに、マイクを誰にも渡さず自分ばかり歌っている。
若いくせに、偉そうなことを言うな。
自分も料理ができなくせに、人の料理のし方に口出しするんじゃない。

(1) _____くせに、人の批判ばかりするのはよくない。

(2) あの人は_____のくせに、なんだか頼りない。

(3) 本当はチョコレートが_____くせに、がまんしている。

(4) 本当は_____くせに、_____ふりをして責任を逃れた。

読解トレーニング

問い 筆者の述べている考えと合っているものはどれですか。

日本は、世界で一番国民の平均寿命が長い国だ。特に女性の平均寿命は、1985年以來20年以上も世界一のポジションを守り続けているというから驚きだ。

しかし、現在はこれほど長生きの日本人も、かつて「人生50年」と言われたように、昔から長寿だったわけではない。衛生状態が悪く、医療制度も整っていなかった過去の時代では、病気や事故などで亡くなってしまふ人が、今よりもずっと多かっただろう。

寿命の「寿」という漢字には、「おめでたい」という意味がある。「寿命」という言葉には、大きな病気にかからず、事故にもあわず、「天から与えられた命」を終えたいと願う、昔の人々の気持ちが込められているのかもしれない。

1. 日本人女性は、ずっと昔から平均寿命が長かった。
2. 病気や事故で亡くなる人がいなければ、日本人の平均寿命はもっと長くなる。
3. 現代人は昔の人が「寿」という漢字を使った意味をもっと考えたほうがよい。
4. 日本人の寿命が伸びたのは、衛生状態や医療制度が改善されたおかげだ。